

生活マネジメントプロジェクト シラバス

ゴール：看護学生 1 年生の自分たちに役立つ『生活マネジメント提案集』をつくる！

ビジョン：看護師になるために自立と自律ができる生活をしたい

科目名(副題)	看護学概論Ⅰ・生活科学・人間関係論Ⅱ・基礎看護技術Ⅱ(コミュニケーション)		
講師	スーパーアドバイザー：鈴木敏恵先生 担当：鈴木恵一・金泉詳子・秋澤きみよ		
受講対象	国際ティビィシィ小山看護専門学校 1 学年 76 名		
キーワード	生活改善、メタ認知、人間、健康維持、スマホ、学習方法、時間管理、睡眠、食事、社会人基礎力		
期間・時間	2021 年 4 月～7 月 15 コマ 30 時間		
手法	プロジェクト学習		
評価	ポートフォリオ評価		
成果物	こうすれば看護学生 1 年目の生活がよいものになるという提案集		
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・生活を観察する力 ・看護学生 1 年生として生活における自立と自律、自分の生活をマネジメントできるようになる。 		
身につく力	<p>〈専門知〉</p> <ul style="list-style-type: none"> □生活を観察する力 □生活、健康、人間の統合的な把握 □食事、睡眠、活動に関する基本知識 	<p>〈普遍知〉</p> <ul style="list-style-type: none"> □チームで一つのことを成し遂げる体験 □課題発見力 □目標へ向かう力 	
概要 (社会的意義)	<p>看護専門学校という新しい学びの場での学生生活の変化、新しい友人関係など大きく変化する中で生活をスタートする看護学生 1 年生が、自律した学生生活を送れるようになるための自分たちの生活を改善する提案集を作る。</p> <p>◎チームで行うワークにより、体験的にプロジェクト学習の意義を知る。</p> <p>◎プロジェクト学習の基本的な展開を経験することで、自分たちの知識とスキルを身につける。＝自律を果たせる。多忙な新しい生活を始める時の力となる。</p> <p>◎食事や睡眠など基本的な生活を自律的にできるために、現状を知り、ありたい状態を描き、その実現のために具体的にどうしたらよいか簡潔にわかりやすく提案できる。</p> <p>◎自分の生活をかえりみることで、患者さんの生活を見る力(推察力)や、改善すべき点に気づく力(＝課題発見力)が身につく。</p>		
講義室・場所	1・2・3 教室(Wi-Fi 環境とする)・自宅		
講義予定	回	月日	時限 内容
	0	3月26日	午後 【準備】 生活シートをつけはじめる＝ライフポートフォリオを作り始める
	1	4月14日	4 【鈴木先生の講義】事前に YouTube で e ラーニング ・看護に求められる創造的な思考を学ぶ ・夢への動機を明確にして、これからの学びにつなげる
	2 3	5月20日 (金)	1 2 【ビジョン・ゴール】 ビジョン:看護師になるために自律と自立ができる生活をしたい ゴール:看護学生1年生の自分達に役立つ生活マネジメント提案集をつくる！ ①看護学生としてどうありたいかを照らし合わせ、自分の課題を決める ②同じ課題で集まりチームをきめる ③チームごとのゴールを決める ④ゴール達成に必要な情報や作業を考える
	4	6月9日 (木)	4 【鈴木先生の講義】 14:40 チームテーマ発表

			~ 16:10	課題解決の思考プロセス 【計画】 ゴール達成に必要な情報や作業、時間配分を計画する
5	6月23日 (木)	4	14:40 ~ 16:10	【情報・解決策】 ゴールに向かうために有効な根拠に基づいた情報を得る 具体的な工夫、解決策を生み出す
6	7月7日 (木)	4	14:40 ~ 16:10	【制作】 Google スライドに図やグラフ、簡潔な文章を組み合わせ、プレゼンテーション用に表現する
7 8 9	7月13日 (水) 7月15日 (金) 9月1日 (木)	4 1/2 2		【制作】 Google スライドに図やグラフ、簡潔な文章を組み合わせ、プレゼンテーション用に表現する
10 11 12 13	10月15日 (土)	9:00 ~ 16:00		【公開プレゼンテーション】 各チームのプレゼンを聞いて、よいところ、こうすればもっとよくなるという視点でメッセージを付箋(デジタル)に書く、プレゼンチームのGoogle classroom にアップ。
14	10月27日 (木)	3		【再構築】 再構築をする 再構築の意図・方法・制限を説明
15	10月27日 (金)	4		【成長確認】 成長エントリー・成長確認
				検索 未来教育オンライン講座 http://www.mm-miraiyouiku-onlinecourse.com/
プロジェクト学習 e ラーニング				

■ポスター

CP: 多様性(ハンディ・性差・年齢・地区)・オープン・先進性(P・対話・プロジェクト学習)